



産業戦略の推進（平成25年9月代表質問）

知事は、選挙公約に掲げた「5つの全力」に取り組んでおられますが、中でも、最優先課題とされている「産業力・観光力の増強」の取り組みとして、本年4月に、産業戦略本部を立ち上げられ、7月には、「やまぐち産業戦略推進計画」を策定・公表されました。

「やまぐち産業戦略推進計画」に対しては、産業活動に真に必要な港湾や道路について、工程表に沿って、文字通りオンスケジュールで整備を進めようとしていることや、医療関連産業や水素など、環境・エネルギー産業に着目した新規プロジェクトを打ち出したことなどを高く評価する、という企業人からの声をよく聞きます。

また、工業用水の安定供給プロジェクトについて、関係省庁や地域の調整に尽力され、光市島田川上流の中山川ダムの予備水源を転用することにより、慢性的な水不足にある周南地区において、新たな工業用水の確保に、見通しをつけられました。

これまで誰もなし得なかった、画期的な成果であり、本県工業出荷額の約4割を占める周南地区を始め、県内各地域における工業用水の安定供給に向けた更なる取り組みを期待しております。

国においては、アベノミクスによって景気回復の動きが鮮明になってきており、さらには、2020年東京オリンピック・パラリンピックは、東日本大震災からの復興はもとより、我が国の再生や成長に大きく寄与するものと、国民も期待していると思います。

一方、県内におきましても、例えば長門市では、農林水産業を中心とした新たな成長戦略をスタートさせるなど、まさに知事の産業戦略に呼応した取り組みが始まりつつあります。

それだけに、このような動きを追い風としながら、今後はいよいよ、計画に掲げる重点戦略やプロジェクト等をいかに着実に実行していくかが重要になると思います。

そこでこのたびの工業用水の確保の取り組みに象徴される産業インフラの整備や、今議会に予算措置されているソフト施策の推進など、産業戦略の早期の具現化は、本県にとって大変重要と考えますが、知事は、今後どのように取り組まれるのかお伺いいたします。

【山本繁太郎県知事 答弁】

私は、強い産業力が、所得の向上や雇用を創出し、地域の活性化、ひいては県民福祉の増進につながるという信念の下、「産業力・観光力の増強」を最優先課題に掲げ、全力で取り組んでまいりました。

先般、「やまぐち産業戦略推進計画」を策定・公表したところ、一定のご評価をいただいていることを大変ありがたく思っていますが、計画はあくまで計画であり、今後は、これをいかに早期に具現化していくかが肝要です。

工業用水については、このたび、周南地区において、光市島田川上流の中山川ダムを水源とした用水確保に見通しを立てるという成果を出すことができましたが、国際バルク戦略港湾や幹線道路等についても、工程表に明記したスケジュールに沿って整備してまいります。

さらに、ソフト施策についても、医療関連産業等の育成・集積を促進するため、産学公による全県的な推進組織の設立や、今後の成長分野を対象とした全国トップレベルの「産業戦略研究開発等補助金」、また、これらの安定的な財源となる「やまぐち産業戦略基金」の創設を、今議会に予算案として提出しているところです。

私は、今後とも、県民の皆様や産業界、市町と一丸となって、ハード・ソフトの両面から、産業戦略推進計画の早期の実現を図り、産業力の強化、「輝く活力あふれる産業集積県やまぐち」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

質問内容の全文はこちら

答弁の全文はこちら